



総社本殿



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 国指定重要文化財(建造物) |
| 読みかた | そうじゃほんでん |
| 所在地 | 津山市総社 |
| 指定年月日 | 大正3年4月17日 |
| 解説 | <p>総社は美作一円の神社の祭神を集めて祀ったことが始まりとされ、現在の本殿は戦国時代の永禄5年(1562)に毛利元就が再建したもので、明暦2年(1656)に津山城主森長継[もりながつぐ]が大修理を行った。方3間(9.82m)単層、柿[こけら]葺、入母屋造妻入で、二重基壇の亀腹の上に建っており、この地域に多い中山造の豪壮な建造物である。妻飾は虹梁大瓶束式、組物は出三斗で、彫刻の入った墓股を飾る。両側面に廻縁を回し、正面3間と側面の前1間には薮戸を入れている。大棟には千木、勝男木を省略し、向拝の唐破風の上に千鳥破風を置くなど、異質な神社建築となっている。</p> |
| アクセス方法 | JR津山駅から車で約10分 |
| 公開状況 | 外観のみ |
| 設備 | 駐車場  トイレ  |
| 備考 | |